

令和3年度事業報告（事業の状況）

公益目的事業	本県木材関連産業の振興を図る事業
--------	------------------

（1）情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技术情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行った。

1) 情報誌の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

（発行回数：3回（93～95号）／発行部数：各号600部）

NO.	発行部数	発行日	主な内容
第93号	600部	R3.8.3	木材高度加工研究所から～ 足立准教授が大熊幹章賞を授与 / 林顧問が講演 / 日本木材保存協会：大澤特任助教に優秀ポスター賞 ほか 木材加工推進機構から～ ティンバラム(株)がCLTのJAS認定工場に / CLTの新用途提案募集 ほか
第94号	600部	R3.12.3	木材高度加工研究所から～ ウッドショックに国産材を思う / 中大規模木造建築に関する研究 / 木材のナノから先の見えない世界 ほか
第94号	600部	R3.12.3	木材加工推進機構から～ あきた木造建築塾特別講演会 / ウッドファーストあきた木造・木質化建築賞 / 木材利用提案コンクール ほか
第95号	600部	R4.3.31	木材高度加工研究所から～ 木高研講演会 林野庁：小木曾純子氏ほか / ナラ枯れ被害の現状と対策 / 木高研外部評価委員会を開催 ほか 木材加工推進機構から～ 内装用材で不燃材料の大臣認定を取得 / 集成材用ラミを秋田スギに転換へ ほか

2) ホームページの運用

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

◎ 更新回数：HP 13回、FB 8回 / トップページへのアクセス数：3,402件

(2) 技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問、技術開発支援を行った。

1) 相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

◎ 相談件数：36件

① 内容別内訳

36(件)

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
3	7	8	18	36

② 業種別内訳

36(件)

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
0	16	2	1	5	3	9	36

2) 現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いての現地指導を行った。

◎顧問指導：1件 / 技術コンサルタント指導：0社

区分	指導日	対応者	企業名	内容
顧問指導	R3.6.26	林 知行顧問	秋田中央地区へリテージマネジャー養成講座	「木造伝統構法：木材の種別と活用状況／在来工法の継手と仕口」

3) 企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

◎ 訪問企業数：81社(団体など含む)

81社(延べ)

林業	製材	合板	集成材	フローリング	プレカット
6	31	2	7	3	2
チップ	家具木工	建具	流通市場	工務店	その他
2	4	3	10	1	10

(3) 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

1) 公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題
R4. 3. 24	能代市文化会館	60名	林野庁木材利用課 建築物木材利用促進官 小木曾 純子氏	「これからの建築物における木材利用の促進について」 ～改正木材利用促進法とウッド・チェンジ～
			木材高度加工研究所 准教授 川井安生氏	「国内における人工乾燥材の品質・性能の現状と課題」
			木材高度加工研究所 准教授 岡崎泰男氏	「木高研における中大規模木造建築物に関する研究紹介」

2) 技術研修会

既存の製材、集成材、合板等に加え、公共・民間施設における木材の利用拡大を図るためセミナーを開催した。

あきた木造建築塾開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	講師	演題・テーマ
R3. 9. 30	オンライン開催	15名	秋田県林業木材産業課 主査 高野拓広氏 木材高度加工研究所 所長 高田克彦氏	・ 建築講座概要説明 ・ 木材利用と炭素循環
R3. 10. 8	オンライン開催	13名	木材高度加工研究所 教授 山内秀文氏 木材高度加工研究所 准教授 岡崎泰男氏	・ 材料としての木材 ・ 建築と木材
R3. 10. 29	オンライン開催	11名	(株)農林中金総合研究所 主事研究員 安藤範親氏 主事研究員 多田忠義氏 設計チーム木協同組合 藤田 剛氏	・ ウッドショックを見極める力 ・ 非住宅への木材利用
R3. 11. 26	秋田県 JA ビル (オンライン同時配信)	121名	(株)大林組 設計本部 高山 峻氏	・ 日本初の高層純木造耐火建築物への挑戦 ～OYプロジェクトを通じて～

R3. 12. 17	オンライン開催	14名	秋田県立大学 教授 板垣直行氏 (有) もるくす建築社 代表 佐藤欣裕氏	・木造建築の変遷と工法の変化 ・秋田県内での取組み例
------------	---------	-----	---	-------------------------------

学生を対象にした設計コンペの開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	審査委員等	内 容
R3. 11. 11	秋田県 JA ビル	7名	審査委員長 秋田高等工業専門学校 助教 鎌田光明氏 ほか委員 6名	・木材利用提案コンクール応募作品の審査 (応募作品数 21 点) 最優秀賞 1 点, 優秀賞 2 点, 特別賞 1 点, 佳作 4 点
R3. 11. 26	秋田県 JA ビル	121名	木材利用提案コンクール 表彰式 審査委員長講評 秋田高等工業専門学校 助教 鎌田光明氏	作品：表彰式会場に展示

技術アドバイザー派遣事業（県受託事業）

開催日	会場	参加者	技術アドバイザー	内 容
R3. 9. 22	大館市消防 本部	5名	木材高度加工研究所 准教授 野田 龍氏	施設建設に伴う木造軸組工 法や CLT 等の活用事例ほか

収益目的事業	木材に関する調査・研究等を行う事業
--------	-------------------

企業や官公庁から発注される次のような木材に関する調査・研究事業等を行った。

- 1 企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や摩耗などの物性試験、梁の耐火試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施する。
- 2 国の各省庁が発注する木材の調査・研究に関する業務を受託する。
- 3 自治体等などからの依頼を受け、木製ダム・木柵・木橋等の木製構造物の劣化等の診断をする。

◎依頼件数：52件

分野	件数	主な試験内容
強度試験	22件	<ul style="list-style-type: none"> ・集成材の曲げ試験 ・椅子の耐久性試験 ・接合部のせん断試験 <p style="text-align: right;">ほか</p>
物性試験	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・製材の含水率試験 ・フローリングの摩耗試験 ・接着性能試験 <p style="text-align: right;">ほか</p>
耐火・燃焼試験	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・梁の耐火試験 <p style="text-align: right;">ほか</p>
その他	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティクルボードのホルムアルデヒド放散量試験 ・パネルの音響透過損失試験 ・薬剤注入試験 <p style="text-align: right;">ほか</p>

■貸借対照表■

令和4年3月31日現在(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,708,376	5,850,889	7,857,487
未収金	5,635,860	17,436,700	△ 11,800,840
流動資産合計	19,344,236	23,287,589	△ 3,943,353
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産投資有価証券	489,114,000	476,934,000	12,180,000
基本財産合計	509,114,000	496,934,000	12,180,000
(2) 特定資産			
定期預金	115,000,000	115,000,000	0
普通預金	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	118,000,000	115,000,000	3,000,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
備品	1,699,875	2,161,575	△ 461,700
その他固定資産合計	1,843,875	2,305,575	△ 461,700
固定資産合計	628,957,875	614,239,575	14,718,300
資 産 合 計	648,302,111	637,527,164	10,774,947
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,222,502	9,033,462	△ 6,810,960
預り金	108,910	100,709	8,201
流動負債合計	2,331,412	9,134,171	△ 6,802,759
負 債 合 計	2,331,412	9,134,171	△ 6,802,759
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	496,934,000	570,304,000	△ 73,370,000
基本財産評価損益	12,180,000	△ 73,370,000	85,550,000
指定正味財産合計	509,114,000	496,934,000	12,180,000
(うち基本財産への充当額)	(509,114,000)	(496,934,000)	0
2. 一般正味財産	136,856,699	131,458,993	5,397,706
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	645,970,699	628,392,993	17,577,706
負債及び正味財産合計	648,302,111	637,527,164	10,774,947